



一般質問

第2回定例会では、15人の議員が一般質問を行い、3日間にわたり活発な議論を展開しました。

議会を動画で見よう！

◆「QRコード」をスマートフォンなどで読み取ると、インターネットで録画配信している本会議全体の様子をご覧いただけます。



◆一般質問記事の内側にある「QRコード」を読み取ると、その議員の一般質問の動画が視聴できます。

南島原市議会 議会中継



議員 南島原市の対象者数、検診受診率は、
福祉健康部長 令和3年度の対象者数は11,888

子宮頸がん検診について

個別案内、広報紙、ホームページへの記載等を通じて正しい理解、推進に努めている。
福祉健康部長 12歳から16歳（※今は特例で25歳まで）の女子が対象で令和3年度の対象者（12〜16歳）は、882人である。

HPVワクチンについて

議員 定期接種対象者や接種率向上への方略は、



寺澤佳洋 議員

子宮頸がん検診を受けやすくする体制作りに関して

市長 医師会とも相談し、検討していきたい。

福祉健康部長 妊娠・出産に伴う高血圧、糖尿病等の治療に要する医療費の

か。
議員 2022年7月長崎市で医師会・歯科医師会・薬剤師会の三師会が妊産婦医療費助成制度を長崎市に申請したが、この制度はどういったものか。

妊産婦医療費助成制度について

福祉健康部長 本市では、国の指針に沿って、2年に1回の検診にしているため、検診に該当する年度であるかをわかりやすいように、受診券を発行している。

議員 南島原市民は、島原市民や雲仙市民と異なり検診受診券がないと検診を受けられないのはなぜか。受診の機会を逃すと市民の声を聞いた。

4人、受診率は13・5%で若干低下しており、コロナ禍で受診控えがあるのではないかと推測している。（島原市約30%、雲仙市約15%）

福祉健康部長 どのよう

な支援が可能か、福祉保健部としては検診させて頂きたいと考えている。

市長 福祉保健部長が答弁したように、私もそういう考えを持っている。
議員 返礼品を提供することで企業や個人事業主側のメリットはあるか。寄附額を上げる方略は、
地域振興部長 商品PRができ、サイトを使用するので販路拡大など、売上増加が期待できる。メルマガジンなどの広告やカタログの強化、あとで

ければセツトで組み合わせての高額の寄附の品目の開発を考えている。

ふるさと納税・応援寄附に関して

自己負担を軽減する助成制度と理解している。
議員 本市で申請があったときはどう対応するか。

質問の様子を動画で見よう

